

2017年3月22日

東急不動産株式会社

## 物流施設開発事業に参入 埼玉県春日部市、三重県桑名市にて2プロジェクトを推進

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:植村 仁)は、この度、埼玉県春日部市における「(仮称)春日部物流センター」および三重県桑名市における「(仮称)桑名プロジェクト」での2プロジェクトに着手し、物流施設開発事業に参入したことをお知らせいたします。

Eコマースの拡大に伴い、先進的な物流施設のニーズは今後も拡大が継続するとみられ、この度、当社は物流施設開発事業に参入することを決定しました。今後は、当社の総合デベロッパーとして培ったノウハウを生かして、インフラ・インダストリー分野における事業展開を積極的に進めると共に、物流効率化という社会ニーズに対応してまいります。

### ■(仮称)春日部物流センター

三菱UFJリース株式会社、ケネディクス株式会社と共同出資する特定目的会社が事業主体となり、ケネディクスがアセットマネジメント業務を行い、株式会社フジタの設計・施工にて開発を行います。

計画地は、主要環状道路である国道16号と4号の交差点から約600mの場所にあり、東北自動車道「岩槻 I.C.」や常磐自動車道「柏 I.C.」へアクセスがしやすく、東京都心部からも約30kmと交通利便性に優れた立地です。本交差点は現在計画中の東埼玉道路「庄和 I.C.」の建設予定地にもなっており、今後更なる利便性拡大が期待されています。

1階に両面トラックバースを設置する他、効率的な物流オペレーションを可能とする最新鋭の倉庫仕様を備えた大型マルチテナント型物流施設を計画しています。



外観イメージ

### ■(仮称)桑名プロジェクト

大和ハウス工業株式会社、アール・アイ・シー・マネジメント株式会社と共同出資する特定目的会社が事業主体となり、三重県桑名市にて物流施設開発用地を取得しました。アール・アイ・シー・マネジメントがアセットマネジメント業務を行います。

計画地は、東名阪自動車道「桑名 I.C.」「桑名東 I.C.」から車で約10分の場所に位置し、名古屋市内および名古屋港への交通利便性に優れた立地です。また、現在整備中の東海環状自動車道や新名神高速道路の開通により、交通利便性がさらに高まり、東日本と西日本の新たな結節点となることが期待されます。約70,000㎡の敷地に、大型マルチテナント型物流施設の建設を計画しています。



外観イメージ

【(仮称)春日部物流センター 施設概要】

所在地:	埼玉県春日部市下柳六畝
敷地面積:	17,950.53㎡
延床面積:	38,853.29㎡
構造:	地上4階建
着工:	2017年2月
竣工:	2018年2月(予定)



【(仮称)桑名プロジェクト 計画地概要】

所在地:	三重県桑名市多度町力尾(工業団地「テックベース桑名」内)
敷地面積:	70,253.35㎡
取得年月日:	2017年2月7日

